

生活交通バス住民アンケート調査結果について

1.調査概要

(1) 目的

生活交通バス再編にあたり、バスの利用実態、利用意向を把握するために実施。

(2) 対象者及び実施時期

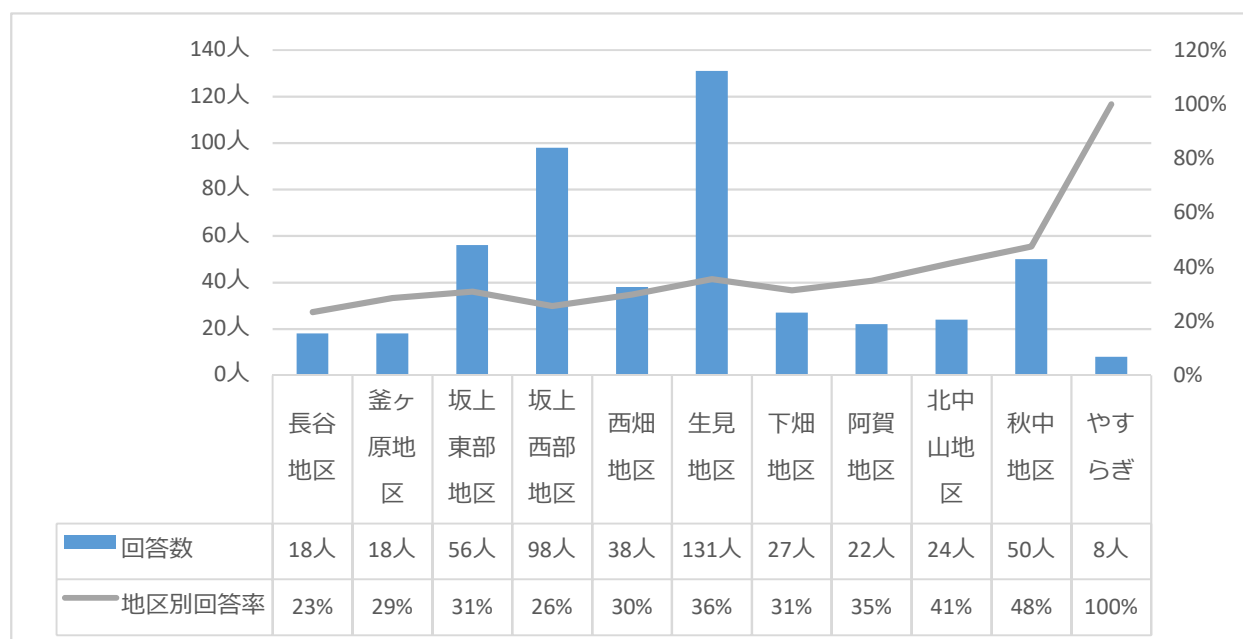
配布と回収：自治会加入世帯全戸及びやすらぎに対し、広報5月15日号と同時配布。郵送による回収。

回答期限：令和4年5月31日

(3) 配布・回収状況

	長谷地区	釜ヶ原地区	坂上東部地区	坂上西部地区	西畑地区	生見地区	下畑地区	阿賀地区	北中山地区	秋中地区	やすらぎ
回答数	18	18	56	98	38	131	27	22	24	50	8
地区世帯総数	77	63	181	383	127	369	86	63	58	105	8
地区別回答率	23%	29%	31%	26%	30%	36%	31%	35%	41%	48%	100%

・回答率が高いのは、秋中地区（48%）、北中山地区（41%）、生見地区（36%）となっている。



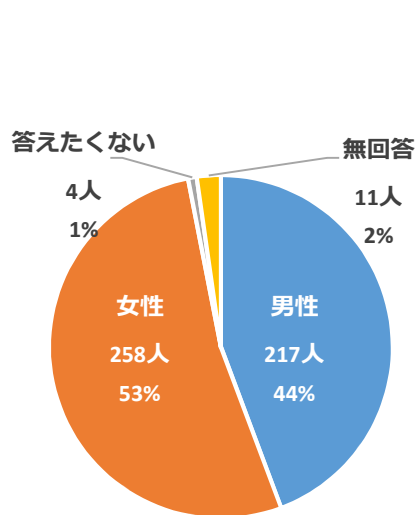
▲回答状況（回収490 / 配布1520 回収率32%）

2.結果

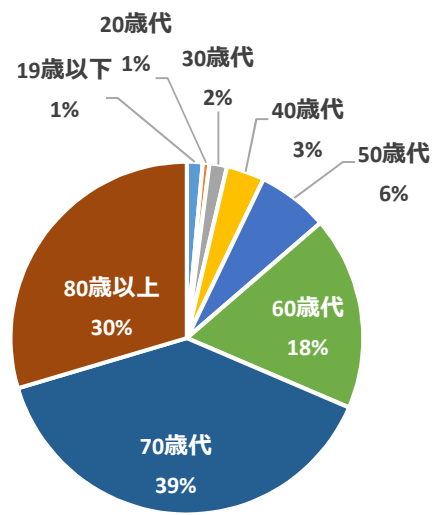
(1) 対象者の概要

①性別、年齢

- ・回答者の性別は女性が53%、男性44%、無回答・答えたくないが3%となっている。
- ・回答者の年齢は、70代が39%、80代以上が30%と約7割が70代以上となっている。
- ・令和4年5月1日時点の美和町の人口統計データと回答者の傾向を比較すると、男女比は、ほぼ同じであるが、年齢別では、統計上、70代以上が4割であり、バスを利用する可能性が高い方に記入をお願いしているというところから、利用者の多くは高齢者であることが推測される。

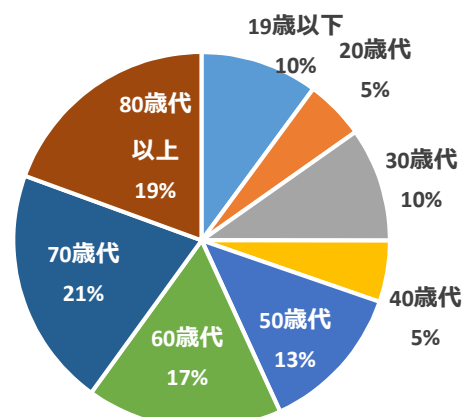
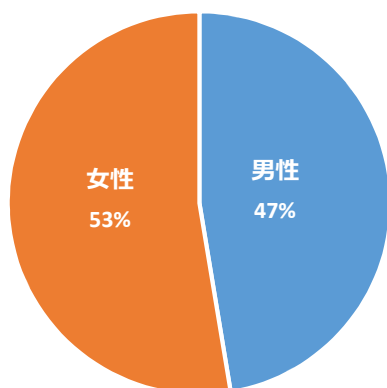


▲性別



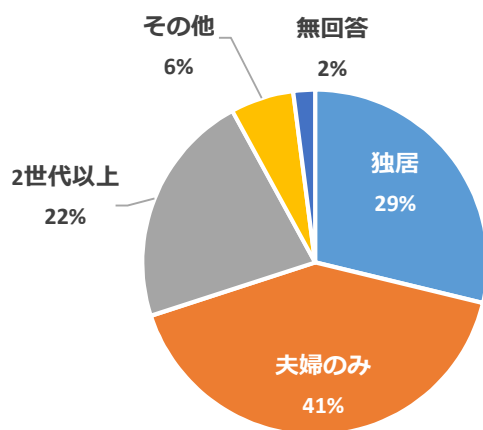
▲年齢構成

参考）R4.5.1美和町(人口統計データ)

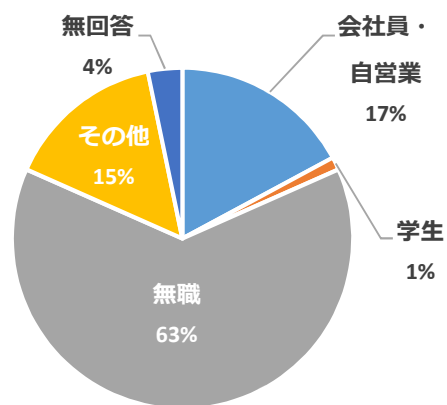


②世帯構成、職業

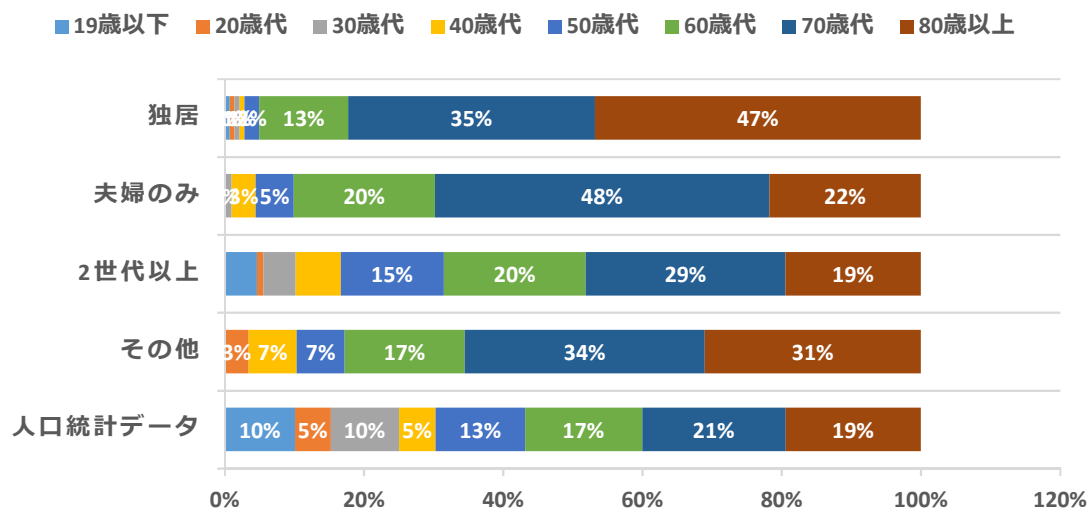
- ・回答者の世帯構成は、夫婦のみの世帯が最も多く41%、独居が29%となっている。
- ・年代別でみると、夫婦のみ世帯の70%、独居世帯の82%が70代以上となっている。
- ・回答者の職業は無職が63%となっている。



▲世帯構成



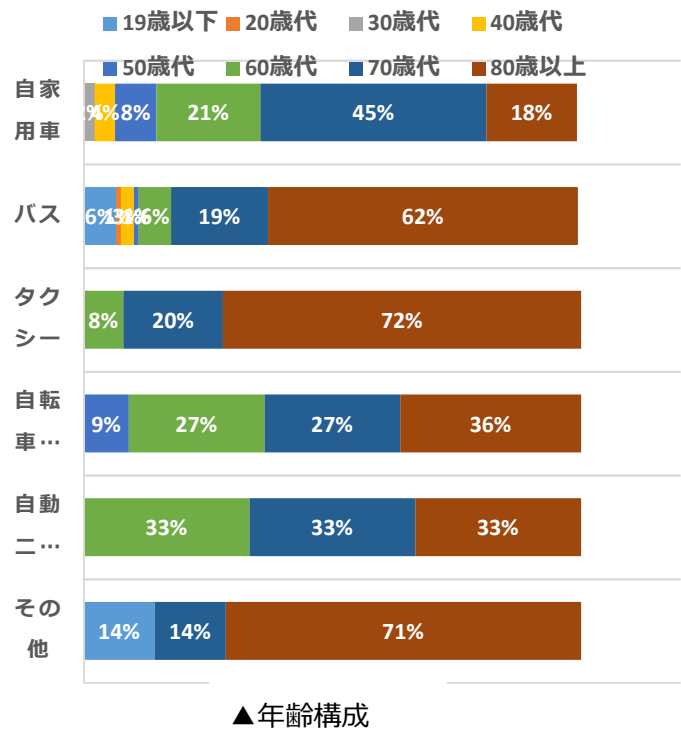
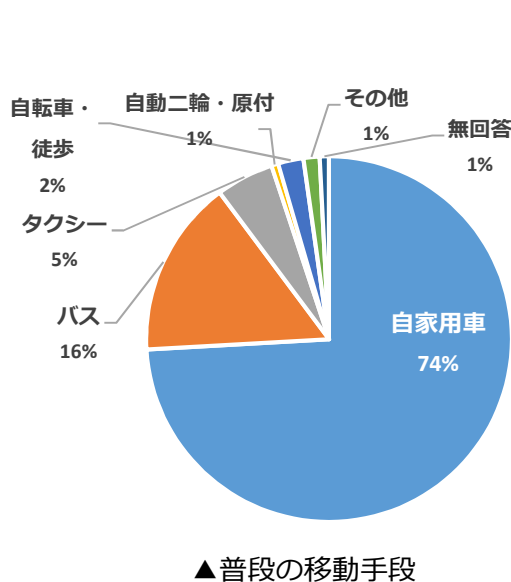
▲職業



▲年齢構成

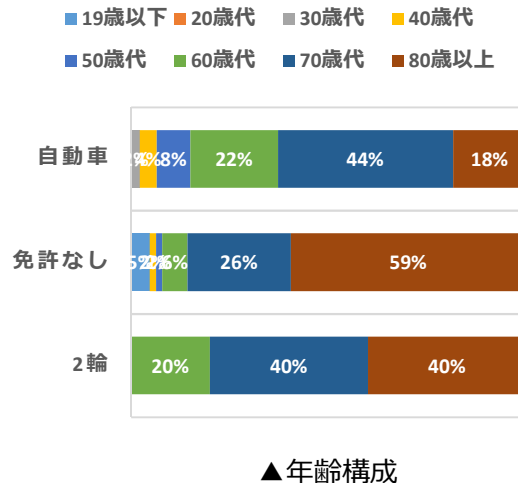
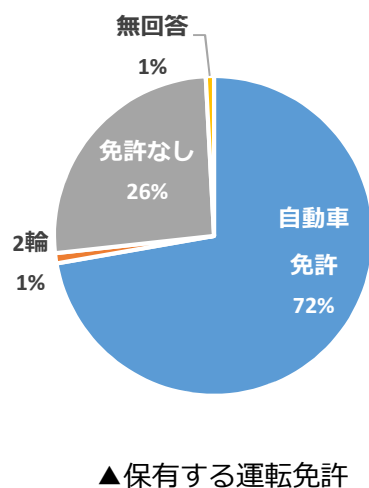
③普段利用する移動手段

- ・回答者の74%が普段は自家用車で移動すると回答しており、そのうち63%が70歳代以上となっている。
- ・回答者の16%がバスを利用すると回答しており、そのうち62%が80歳以上となっている。



③保有する運転免許

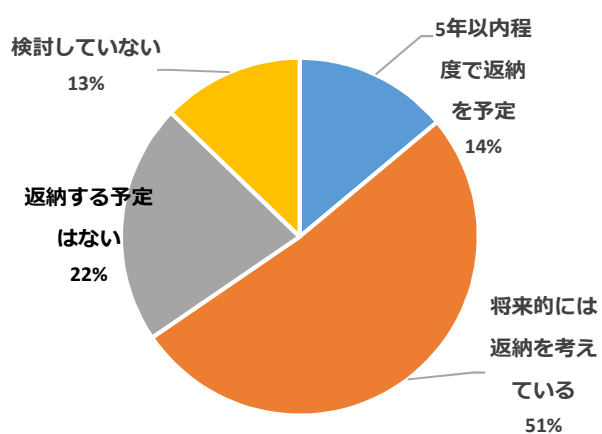
- ・回答者の72%が自動車免許を保有している。
- ・免許をもっていないと回答した方の85%が70代以上となっている。



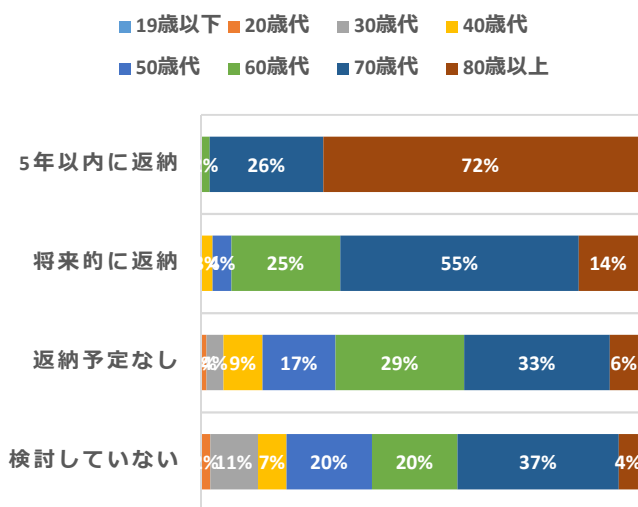
④保有する免許証の返納

・免許証の返納については、将来的には返納を考えている方が51%、5年以内に返納を予定している方が14%と、半数以上の方が免許返納を考えている結果となっている。

・5年以内に返納を考えている方の98%が70代以上となっている。



▲保有する運転免許の返納について

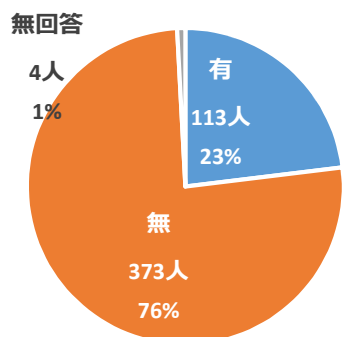


▲年齢構成

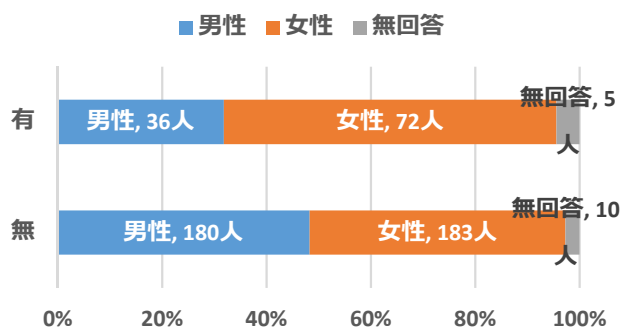
(2) 普段の生活交通バスの利用

①利用の有無

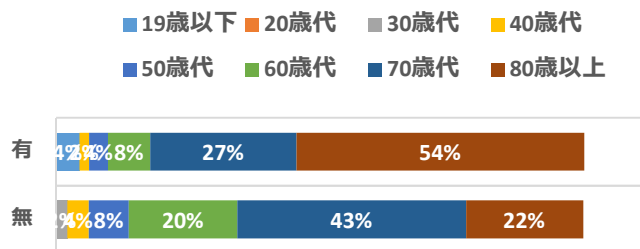
- ・回答者の23%が生活交通バスを利用し、免許を所持しない高齢の独居女性の占める割合が高いと整理できる。
- ・回答者の76%が生活交通バスを利用しないと回答し、年齢層の比較的低い高齢夫婦世帯で免許の所持率が高い結果となっている。



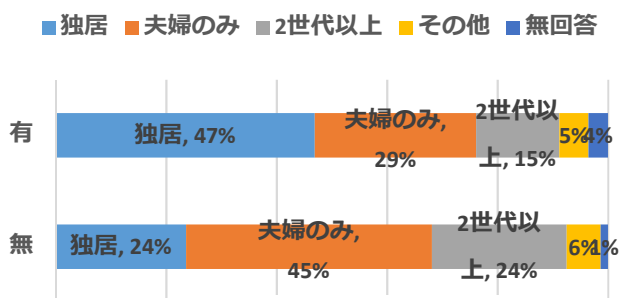
▲普段のバス利用の有無



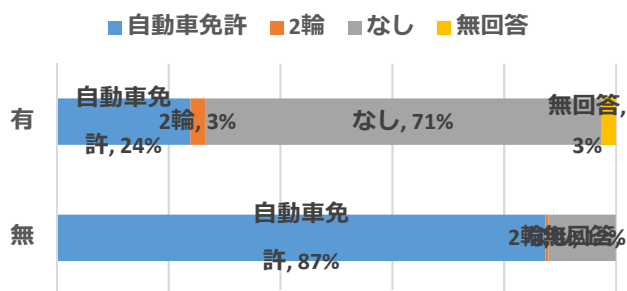
▲性別



▲年齢構成



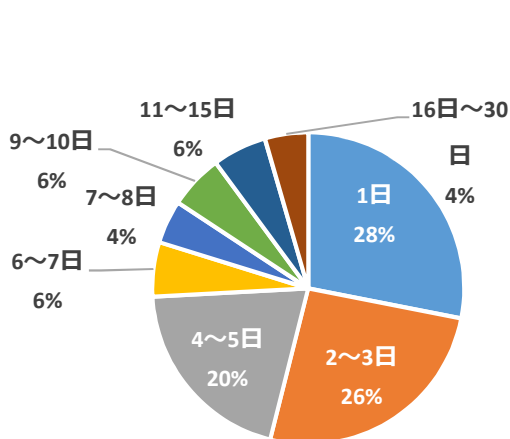
▲世帯構成



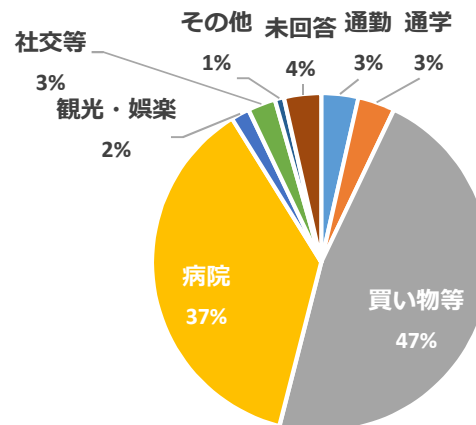
▲保有する免許

②利用すると回答した方のひと月あたりの利用頻度、利用目的

- ・利用頻度は、月1日が28%と最も多く、月2～3日26%、月4～5日20%となっている。
- ・利用目的は買い物47%、通院37%となっている。



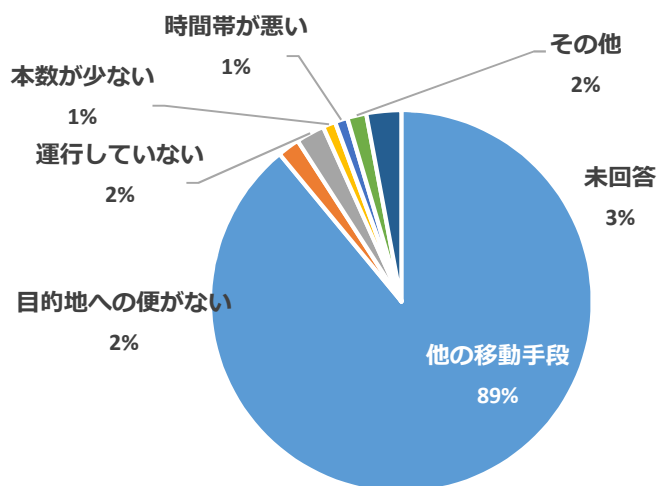
▲バス利用頻度（ひと月あたり）



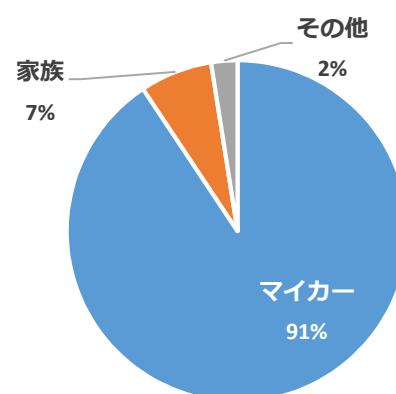
▲利用目的

③利用していないと回答した方の主な理由

- ・「バス以外の移動手段があるから」が89%と最も多く、そのうちマイカー利用が91%となっている。
- ・「目的地まで運行していない」、「自宅近くを運行していない（バス停がない）」、「運行時間帯が自身の移動時間にあわない」等、利用したくてもできないという意見もあがっている。



▲バスを利用しない理由

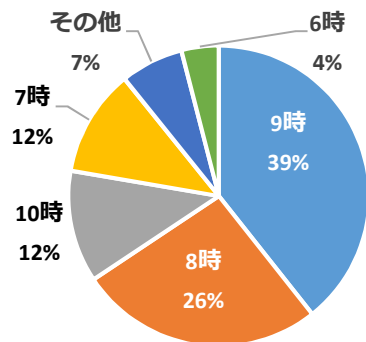


▲バス以外の移動手段

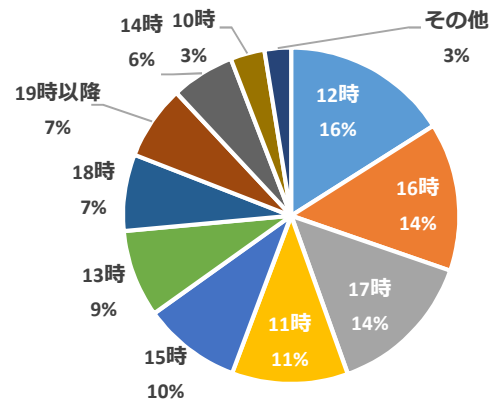
④バスで目的地に行く際、最も利用したい時間帯、バスで帰宅する際、最も利用したい時間帯

・バスで目的地へ行くのに最も利用したい時間帯としては「9時」39%、「8時」26%と多く、次いで「7時」、「10時」が12%となっている。

・バスで帰るのに最も利用したい時間帯としては、「12時」16%、「16時」「17時」14%、「11時」11%となっている。



▲利用したい時間帯（行き）



▲利用したい時間帯（帰り）

⑤運行ルートに新たに加えてほしい地域、施設等

			(件数)
地域	美和地域	日宛	1
		西畑	1
		下長野地域内	1
		上佐坂（旧道）	1
		岸根地域	1
		鷹ノ巣住宅	1
		陽の出団地内	2
	その他地域	美川町小川	1
		廿日市市佐伯町	1
		廿日市市津田	1
		周東	1

			(件数)
施設	美和地域	松田歯科	6
		山口銀行	3
		農協	2
		近藤医院	5
		郵便局	2
		トレセン・武道館	1
		ハーモニーみわ	1
		サンマート	10
		福祉センター	1
		総合支所	4
		新美和病院	2
		コーナン	4
		レイクプラザやさか	3
		ローソン	3
		黒沢グラウンド	1
		片山商店前	1
		美和苑	1
	その他地域	新岩国駅	3
		棕野駅	1
		大竹ゆめタウン	4
		岩国医療センター	3
		医師会病院	1
		コスモス	1
		フレスタ室の木	3
		山賊（玖珂）	1

(3) 自由意見まとめ

区分	件数	主な意見（抜粋）
運行エリア	8	町内を巡回してくれるような（くるくるバス）バスがあればいいとおもいます。
		現状は利用者がいないのだろうが、将来的に、百合谷公園の通りの便数を増やしてもらおうと沿線住民にとって良いと思う
		高齢のため免許は返納します。その後の国病への通院をどうしたらよいのでしょうか。
		釜ヶ原～大竹の交通手段がほしい。
		日宛だが、近くまで来ない。
運行本数	11	近くのバス停は週1回のみで利用しにくい。
		週2回程度は運行してほしい
		サンマートに行って1時間位で帰れるくらいのバスがあると便利です。
		清流線と接続した便を多くしてほしい
運行時間帯	5	運行時間の見直し。始発地域は病院バス週一回の他、7時台一本なので中間に1本や2本でもあればよりしやすいのでは・・・。
		1年ごとに曜日を変えてほしい
		土曜日も通学するが行きも帰りも時間があわず利用できない
乗継	3	鮎谷までバスで出ても岩国、大竹方面への連絡がすぐにあります。連絡があれば利用したい。
運賃	2	病院への付添者は運賃無料もしくは半額などメリットがあると利用が増えるのではないのでしょうか。
バス停までの距離	7	家の近くで停めてほしい
		バス停まで遠く坂道もあり足腰が悪いので歩けない。
タクシーへの転換	7	最寄りのバス停までが困難な人に対して、生活バスの代わりに生活タクシーがあればもっと利用しやすいのではないかと思います。
		障害のある人や高齢者の人が停留所までいかないと利用できないのは無理があるかもです。十分なことは言えませんが…タクシーを利用しますね
予約乗合バス	7	乗車の事前予約ができれば車を効率よく運行できると思います。
		特に山間部からのバスで空車を見ることがある。特定区域になるが予約制にしたらどうか。お客がないときは運行しない、予約に応じ運行する、
スクールバス利用	2	スクールバスにも老人を乗せてほしい
車両	6	10人乗りの小型バスでいいのではないかと思います
将来不安・継続	70	高齢者には免許の返納を勧めておられますが代わりの足の確保が必要です。利用が少ない理由をもってバスの便数を減らすことは反対です。
		今後、独居となり免許を返納した場合、移動手段が限られ、通院、買い物に不便を感じると思います。
		市中心部に行く手段はバスしかありません。
		利用が一人になっても無くしてほしくない
情報不足	2	美和町をどのように走っているのか、どの車が生活バスでのっていいのかわかりません。
その他	27	釜ヶ原在住。通院買物など生活は広島なので利用していません。
		人口減のためバス以外の方法を考えてほしい。
		病院が移転したらすぐに利用できるような対応してください。
		バスの利用は今の所なし。